

平成28年度 第5回社会保険等システム検討委員会 議事録

日 時：平成29年1月31日(火)18時30分～20時

場 所：東京医大病院 研究棟4F 「第6セミナー室」

出席

担当理事：大川 淳、委員長：青田洋一

委員：山縣正庸、種市 洋、武者芳朗、吉井 俊貴、遠藤健司、鈴木秀和、山田浩司、

アドバイザー：平泉 裕

欠席

渡辺航太、伊藤淳二

議題

平成30年診療報酬改定に向けた、要望項目の検討

討議事項

外保連委員報告（実務、手術、処置試案を中心に）

1) 手術委員会 2016/9/16 出席： 遠藤、山田

椎間板髄核融解術：外保連を通さず、“手術”として直接申請する。

2) 処置委員会 (平泉委員長) 2016 12/1 出席：鈴木

JSSRからの申請はなし。

3) 実務委員会 2/8 第1回開催予定

4) 広報委員会 遠藤

費用対効果のデータがあるものについてプレゼンの要請あり(前回はTES)。

PEDについて、平泉先生プレゼン予定。

H30 要望項目について

- 1) 内視鏡下椎弓形成術とPELDはJOAが主学会で、JSSRは連名申請。
- 2) 「脊椎手術の術中透視装置使用加算(防護対策実施時)」(X線防護手袋)について：皮膚がん発生事例もあり。早急に対策必要だが、1枚1万円でディスポ。技術新設要望順位5のEOSの代わりにX線防護手袋を“その他”で変更できるか、平泉先生に確認、記載していただく。(プレゼンは見送り)

3) 技術改正のハイスピードバー材料費について

Single use の reuse は認められないが、材料費で認められる可能性も極めて低い。
Reuse が認められている器械を使用するのが現実的であろう。

ヒアリング項目について

1. 脊椎固定術に対する脊椎インストゥルメンテーション手技：山田先生

実態調査の結果、1椎間病変でもPSが8本使用されており後購側方固定術と価格があまり変わらなくなっていた。腫瘍や感染など適応疾患の特殊性によると思われる。

今回は実態調査の結果を尊重してそのまま提出する。

2. 頸胸椎後縦靭帯骨化症手術（前方侵入）：吉井先生

データベースについて

日本インストゥルメンテーション学会によるレジストリ

- ・ Kコード、執刀医の卒業年度（グループ）、人数、手術時間、周術期合併症
- ・ まずは instrumentation 使用手術のみから開始。開始時期は未定だが、いずれ JSSR としても施行する
- ・ メーカーの協力について：労務提供にならないか確認中
- ・ 各病院の倫理委員会を通しやすいようにテンプレートを作成してほしい

第8回 日本 MIS_t 研究会でのプレゼンについて：山田先生

題名：脊椎固定術に対するインストゥルメンテーション手術（外保連試案）の内容改定のための実態調査

- ・ 今回の PPS 実態調査を通じて、外保連や試案について紹介する予定。

次回開催は日本脊椎脊髄病学会会期中 4/14（金）夕方予定

資料1 脊椎脊髄病学会からの要望一覧

資料2

日整会依頼の要望項目について

1) 「脊椎手術の術中透視装置使用加算（防護対策実施時）」

2) 下記が11月1日メールより

日整会社保が主学会として要望する項目は下記の通りです。

（新設）

2) 内視鏡下椎弓形成術

3) 経皮的内視鏡下椎間板切除術

（改正）

4) 椎間板摘出術+高位の違う椎弓切除術の算定

6) 内視鏡下椎間板摘出術の複数椎間加算

（材料）

2) 脊椎手術時のマイクロドリルのダイヤモンドバー及びスチールバー

「脊椎手術の術中透視装置使用加算（防護対策実施時）」

平成30年度診療報酬改定に向けた社保委員会活動スケジュール

平成28年

- 3月 脊椎脊髄病学会 評議員アンケート回収、不合理・矛盾点の意見募集、
- 4月 第1回脊椎脊髄病社保委員会開催（日整会）
（次回、要望の候補について検討、28年度結果の不合理矛盾点について）
- 5月12日 第2回脊椎脊髄病社保委員会開催（脊椎脊髄病学会）
不合理・矛盾点の意見募集締切
- 5月19日 第1回実務委員会（不合理・矛盾点より緊急要望の検討）
（本年度要望書の元となる新設・改正・材料要望項目アンケートについて説明）
- 6月 緊急要望提出
新設・改正・材料要望項目アンケートの依頼（簡単な内容記載）
試案未掲載項目の各種委員会提出・承認期間
- 7月29日 第3回脊椎脊髄病社保委員会開催（東京）
- 10月21日 第4回脊椎脊髄病社保委員会開催（東京医大）
- 12月 新設・改正・材料要望項目アンケートの締切（簡単な内容記載）
要望項目の調整作業（要望書記載学会の調整）

平成29年

- 3月 外保連・内保連から提出予定の要望項目の記載学会の調整
- 3月 第1回実務委員会
- 3月下旬 要望書記載学会への要望書作成依頼 (=新設・改正・材料要望項目要望書のweb入力開始依頼)
- 4月下旬 新設・改正・材料要望項目要望書締切 (=新設・改正・材料要望項目要望書のweb入力締切)
- 5月 外保連事務局による校正作業
- 6月上旬 外保連総会にて承認 (3月総会の要望項目承認開催しない場合もある)
- 6月中旬 厚生労働省へ要望書 (製本なし) を持参し陳情に伺う
- 7月 (要望書として製本する場合は製本し、関係方面に配布)
- 8月～9月 厚生労働省によるヒアリング実施 (未定)